



OSAKA JAPAN

# SUITA ESAKA ROTARY CLUB CLUB WEEKLY BULLETIN

創立年月日/1990.2.27  
事務所/〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)  
TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp

例会場/新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日/毎週火曜日 12:30~13:30  
会長:八橋 志夫 幹事:木元 良三 会報委員長:飛田 昭男

## ◇ 2008年12月2日 第887回例会(第886号) ◇

2010.2.27  
記念式典

### ◎ 本日の例会 ◎

今週の歌 「ロータリーって何だろう」

卓話

「20周年を前に思うこと」

堀田 稔 会員

「NHK朝ドラ“だんだん”に因んで」

飛田 昭男 会員

### ◎ 次回例会のお知らせ(12月9日) ◎

「年次総会」

### 前回〔11月25日〕例会記録

#### 来客

澤 千左子 様 (卓話者・地歌 箏曲 演奏家)

笠原 隆之助 君

(RI 2660地区米山奨学委員長・茨木)

安積 覚 君 (大阪西)

林 白 玫 さん (米山奨学生)

#### 会長の時間

八橋 会長

この連休は誰もいない会社に行き、クラブ運営の半期を振り返ってみました。私自身の反省は多々ありますが…。

11月11日の例会で、「会員増強フォーラム」の時間に田中(茂)広報委員長、大井会員増強担当のアイデアによる会員増強アンケートがありました。その集計結果を拝見致しました。我が吹田江坂ロータリークラブは生きてると実感いたしました。今年

#### 出席報告

水谷 委員

【11月25日】

在籍会員 41名 (内出席規定適用免除者 10名)

出席会員 36名 (内出席規定適用免除者 8名)

ホームクラブ出席率 92.31%

10月28日のMUを含む出席率 100%

度のスローガンは「Here We Go」。そして皆様からは「Yes We Can」であります。内田クラブ運営委員長、寺井親睦委員長、SAAの西本会員による創意工夫された例会、親睦活動が行われており、これからもいろいろ予定しているようで期待したいと思います。そして渡邊(眞)奉仕活動委員長、西上RAC設立準備委員長による、出前授業の実施準備、またRAC設立準備が行われているようです。これはこれからの日本を背負っていく青少年に影響を与える、また育てる壮大な計画です。それを吹田江坂ロータリークラブがこれからやろうとしているわけです。すごいことと考えます。

そして冒頭に申し上げた会員増強ですが、結果はまだまだ出ていませんが、田中(茂)広報委員長、大井会員増強担当のご努力に感謝いたします。いろんな活動情報が私の耳に届きます。私は吹田江坂ロータリークラブに入会させて頂き、また皆様にお会いできました事を感謝いたします。12月2日には12RCの会長・幹事会が行われます。今回は世話クラブでもあり、木元幹事には大変ご面倒をおかけしていますが、その席では吹田江坂を自慢したいと考えています。

#### 幹事報告

木元 幹事

◎2008年12月のロータリーレートは、1ドル=96円と本部より連絡がありましたのでお知らせいたします。

- ◎12月2日(火)堂島ホテルにて、北摂12RC会長・幹事会が、当クラブ担当で開催されます。会長・幹事が出席します。
- ◎12月20日(土)ホテル日航茨木大阪にて、茨木西RCの創立15周年記念式典が開催されます。会長・幹事が出席します。
- ◎12月9日(火)の例会は、年次総会です。
- ◎12月12日(金)・13日(土)は、大阪国際会議場にて、地区大会が開催されます。
- ◎12月16日(火)の例会は、クリスマス家族会開催により、午後6時に変更しております。

### ニコニコ箱

東 会 員 連続欠席のおわび。  
 今 村 会 員 連続欠席のおわび。  
 栢 本 会 員 いつも遅刻で済みません。  
 成 松 会 員 アメリカのロータリー本部から、  
 お手紙を頂きました。有難うございました。  
 大 森 会 員 欠席してすみません。  
 和 田 会 員 連続欠席のおわび。  
 本日分 22,000円 累 計 613,000円

### 奉仕活動委員会

西 上 副委員長

(ロータリー財団担当)

本日、年次寄付にご協力いただいた方は、15名  
 (@13,000円)でした。ありがとうございました。

### 卓 話

#### 「日本の音・上方歌」

地歌 箏曲 演奏家 澤 千左子 様



明治時代、鹿鳴館に代表される欧米追従の文明開化が訪れ、官主導で西欧の文化が次々と移植されました。

その中で音楽は、普通教育の場で洋楽の方式が採用され、中心人物であったメースンという人が、人生の大半を唱歌に捧げた人であったため、唱歌中心

の音楽教育を行いました。

又、メースンの大変忠実な弟子の井沢修二も、唱歌の重要性を強く訴えました。

その際、日本音楽を、甚だ卑しいものとして非難、お琴や三味線音楽を改良しなければならないと述べています。

その結果、現在の日本の音楽界は、90%以上を西洋音楽が占めることになりました。

その状況の中で、なんとか「日本音楽を聴いて欲しい」、特に大阪で育った「上方唄に興味を持ってほしい」というのが、私の願いです。

上方唄、地歌というのは、ほぼ同じ物なのですが、三味線音楽の一つで、江戸時代に上方を中心に発展した物です。

三味線は、大阪にゆかりの深い堺に伝来し、そこから全国に普及しました。

上方唄は、歌舞伎などとは結びつかずに、武家や良家の子女などの嗜みとして、家庭音楽、座敷音楽として発展しました。結果、華々しい発展はとげられず、関西人でも上方唄を知らない方が、沢山おられるということになりました。

今流行りの、派手な、エネルギーを前面に押し出した音楽ではないのですが、自分の気持ちを内に秘めて、あらわにしないことが美徳とされた時代の、美意識や美学を、上方唄、地歌の中に感じて頂けたらと思います。

東京のキリッとシャキッと、クールな雰囲気とは違う、上方ならではの品、はんなりした柔らかさ、もっちりした大阪の粋(すい)を大事にしたいと思います。

今回は、上方唄の傑作とされる「霧の雨」と、上方唄の中では華やいだ雰囲気の「浪花の四季」を、しっとり、はんなりと聴いていただき、上方文化に興味を持って頂けたらと思っています。

### ロータリーって何だろう

ロータリーって何だろう  
 みんな知らない道だから  
 真実かどうか探してる  
 奉仕の為に集まれる  
 不思議な集いロータリー